

■ 日程表

開催日	時間・場所	講師名	役職等	テーマ
10/29(土)	13:00~14:30 工学部3号館 3301講義室	平野 加奈子	独立行政法人 日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンスサポート事業 パフォーマンス分析担当 (バドミントン)	オリンピックと情報活用 -バドミントン日本代表における映像分析支援-
11/30(水)	18:00~19:30 OLIVE SQUARE 2F 多目的ホール	森 正人	三重大学人文学部准教授	四国遍路の旅 -近現代から考える-
12/ 5(月)	15:00~16:30 工学部6号館 6201講義室	山元 公寿	東京工業大学 化学生命科学研究所教授	金属と高分子の織りなす世界 -分子のクリスマスツリーと 未来の錬金術-
12/22(木)	18:00~19:30 OLIVE SQUARE 2F 多目的ホール	伊藤 邦武	龍谷大学文学部教授	数学的真理はどこまで疑えるか -いろいろな哲学的反省-

上記4つのセミナー以外に現在日程を調整しているセミナーがあります。
今年の瀬戸内芸術祭2016で犬島プロジェクトを担当しました長谷川祐子氏を予定しています。
長谷川氏は、現在東京都現代美術館チーフキュレーターとして活躍されています。
詳細が決まりましたら、掲示等により周知させていただきます。



お問合せ先・担当窓口

国立大学法人香川大学 修学支援グループ(研究交流棟1F) 担当:庵原

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 TEL:(087)832-1151 FAX:(087)832-1155

E-mail:sogaksen@jim.ao.kagawa-u.ac.jp URL:http://www.kagawa-u.ac.jp

■ 申込方法

必要事項①~④を上記のE-mailへ送信するか、直接担当窓口で申し込んで下さい。
当日参加も可能です。

[必要事項]

①参加希望日 ②学部・学科 ③学籍番号 ④氏 名

※当日参加可能ですが、配付資料準備のため、できるだけ事前に申し込みをお願いします。

※申し込みいただいた個人情報は、本セミナーでのみ使用し、これ以外の目的で使用することはありません。

※本セミナーは香川大学学生を主対象としていますが、教職員・学外の希望者も参加できます。

もう一步先の学びへ

香川大学 アドバンスト・ セミナー

■ 開催日時

10月~(月~土曜日)

※詳細は裏面参照のこと。

■ 場所

OLIVE SQUARE 2F
多目的ホール・他

~アドバンスト・セミナーってなに?~

大学の学びは、最先端の研究の現場、リアルタイムな社会問題の現場を舞台として、学生のみなさんが教員とともに考えることによって成立します。みなさんに、こういった舞台で活躍する方々の取り組みにもっと間近で触れてほしい、その原動力となる熱意を感じ取ってほしい、そして「大学で学んでこんなに面白いんだ!」と実感してほしい――

アドバンスト・セミナーは、長尾学長のそんな思いから開講されることになった正課外の講座です。講座では、様々な分野で活躍される方々を講師に迎え、講師と参加者との双方向のやり取りが行われます。アドバンスト・セミナーは、みなさんがこれまでの学びを越えて「もう一步先へ」と歩んでいくための道しるべです。



長尾 省吾 学長



■ 講演日程・テーマ・講師プロフィール

10月29日📅 13:00~14:30

『オリンピックと情報活用 –バドミントン日本代表における映像分析支援–』

平野 加奈子氏 【独立行政法人 日本スポーツ振興センター
ハイパフォーマンスサポート事業パフォーマンス分析担当(バドミントン)】

2020年東京オリンピックの開催が決定し、各スポーツで金メダル獲得に向けた様々な準備が進み始めている。特に近年では、情報技術を用いて多様な情報を収集し、それをいかに活用するかは勝利に向けた重要な要素として注目されている。

2012年ロンドンオリンピックでの女子ダブルス銀メダル獲得を皮切りに、2014年トマス杯(男子国別対抗戦)優勝、2016年全英オープン女子シングルス・女子ダブルス優勝、そして8月に開催されたリオオリンピックでの女子ダブルス金メダル・女子シングルス銅メダル獲得など、国際舞台で躍進するバドミントン日本代表の映像分析を中心とした情報活用のデザインについて紹介する。

11月30日📅 18:00~19:30

『四国遍路の旅 –近現代から考える–』

森 正人准教授 【三重大学人文学部准教授】

四国の88ヶ寺を巡る四国遍路とその巡礼路、そしてお接待の文化は世界文化遺産としての普遍的な価値があると言われます。

しかし四国遍路はそうした価値や歴史にとどまらない多面的な巡礼でもあります。

四国遍路が近現代に獲得したさまざまな側面を考えてみたいと思います。

12月5日📅 15:00~16:30

『金属と高分子の織りなす世界 –分子のクリスマスツリーと未来の錬金術–』

山元 公寿教授 【東京工業大学化学生命科学研究科教授】

生命誕生の場合は沢山の種類の金属イオンが存在した海中であったために金属が自然に取り込まれた物質が生まれ、さらに長い年月をかけて高度な生体機能を発現する今日の生命に進化しました。

生体では高分子の骨格のなかにいくつもの種類の金属が精密に配置された高分子が金属と協同して巧妙な生命機能を担っています。

我々は金属の種類と個数と位置を正確に決めて配置できる新しい高分子を世界で初めて開発しました。この高分子は規則正しく枝分かれし、まるで分子の樹木のような形になっています。この分子の樹木にクリスマスツリーのように金属イオンを自在に飾り付ける様子を堪能してください。さらに、分子のクリスマスツリーが錬金術の常識を覆すような元素材料の誕生にも繋がる事を紹介します。

12月22日📅 18:00~19:30

『数学的真理はどこまで疑えるか –いろいろな哲学的反省–』

伊藤 邦武教授 【龍谷大学文学部教授】

「 $2+3=5$ 」、「三角形の内角の和は二直角である」――。これらが私たちの誰もが疑うことのできない「数学的真理」である。数学的真理は絶対に確実である。私たちはときどき計算間違いをする。しかし、どんなに複雑な計算でも、正しい答えはあらかじめ一つにきまっていて、正解がどちらか分からないというようなことはありえない。数学的真理についての「常識」は、だいたいこのようなものだろう。ところが哲学はいつも常識に挑戦する。私たちがきわめて自明であると思っている非常に単純な真理でも、その根拠は実際には薄弱なものではないのか。こうした疑問を提出した哲学者として、セミナーではデカルト、ウィトゲンシュタイン、ポアンカレという3人の思想家の議論を紹介して、考えることにする。彼らの議論には、「悪霊」や「二次元空間を移動する厚みのない人間」など、奇妙な喩えが登場するだろう。

